

## 学校におけるICT環境整備の在り方に関する 有識者会議における主な検討事項

1. 次期学習指導要領を見越し、発達段階に応じ、どのような学習場面及び学習場面に  
応じた効果的なICT活用事例が考えられるか。

※学習場面とは、「学びのイノベーション事業」（平成23～25年度）において、「一斉学習」、「個別学習」、「協働学習」と3つに整理されたが、これは特定の指導方法のことを指すものではない。あくまでも、教員一人一人が、子供達の発達の段階や発達の特性、子供の学習スタイルの多様性や教育的ニーズと教科等の学習内容、単元の構成や学習の場面等に応じた指導方法について工夫して実践する中で、ICTを活用している「場面」を切り取って類型化したという意味での「学習場面」である。また、「学習場面に応じた効果的なICT活用事例」についても、ICTを活用した特定の指導方法の型を志向するものではなく、実証事業において確認されたICT活用の事例として整理したものである。

2. 「情報活用能力（情報技術を手段として活用する力を含む）の育成」、「主体的・対話的で深い学び」の実現及び「個に応じた指導」の実現等の観点から、上記の学習場面及び学習場面に  
応じた効果的なICT活用事例も踏まえつつ優先的に整備すべきICT環境は何か。
3. 優先的に整備すべきICT機器等について、発達段階に応じた学習場面及び学習場面に  
応じた効果的なICT活用事例を想定した上で求められる「機能」として、どのようなものが考えられるか。

### ①教育用コンピュータ

⇒ 各学校段階における授業において教員及び児童生徒が、教育用コンピュータを使いどのような作業をすることが想定されるか。

### ②大型提示装置

⇒ 各学校段階における授業において教員及び児童生徒が、大型提示装置を使ってどのような授業を行うことが想定されるか。

### ③実物投影機

⇒ 各学校段階における授業において教員及び児童生徒が、実物投影機を使ってどのような授業を行うことが想定されるか。

### ④ネットワーク（無線LAN及び有線LAN）

⇒ 各学校段階において、ネットワークを使ってどのような授業を行い、どのようなデータを扱うことが想定されるか。

⑤学習用ソフトウェア

⇒ 各学校段階において効果的にICTを活用した授業を実現するために、最低限必要なソフトウェアとはどのようなものが考えられるか。

⑥付随的に不可欠となる機器等（サーバ等）

⇒ 効果的にICTを活用した授業を実現するために不可欠となる付随的な機器としてどのようなものが考えられるか。

⑦ICT支援員

⇒ 各学校段階においてどのような作業をするICT支援員が、どの程度必要なのか。

（⑧校務用コンピュータ）

4. 各学校種・発達段階に応じて、どのような学習場面及び学習場面に応じた効果的なICT活用事例が、どの程度（頻度）実施されることを想定するか。

※限られた資源を有効活用するという観点を踏まえることも必要ではないか。

5. 上記1～4の論点について、深掘りして議論するために、どのようなエビデンスが必要か。

(参考) 学びのイノベーション事業で整理された学習場面及び学習場面に応じたICT活用事例に基づき必要と思われるICT機器等

学習場面	ICT活用事例	使用機器・支援人材等						
		教育用コンピュータ	大型提示装置	実物投影機	ネットワーク	学習用ソフトウェア	付随的に不可欠となる機器等(サーバ等)	ICT支援員
一斉学習	教員による教材の提示							
個別学習	個に応じる学習							
	調査活動							
	思考を深める学習							
	表現・制作							
	家庭学習							
協働学習	発表や話し合い							
	協働での意見整理							
	協働制作							
	学校の壁を越えた学習							

※下線は「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」において地方財政措置されているもの。その他校務用コンピュータについても地方財政措置の対象となっている。